TUESDAY, SEPTEMBER 11, 1928. NO. 10371

The Japanese American News

昭和三年九月十一日 【火曜日】 第一万三百七十一號

日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONE PROSPECT 236
ENTERED AT S. F. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER
K. AIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 6.50
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 5 CENTS

對支政策雜感

東三省青白旗揭揚は事實か

東京電報に依ると、東三省には愈々青天白日旗が揭げられるといふ。しかも來る十五日から奉天城に飜るといふのでは一寸穏便外である。日本はいつ先方を試みて居る。明治維新當時の英國の薩長援助に劣らざるものである。斯う云へば、日本政府は「奮然のことである。

◇

日本の對支國論には今二樣の見解がある。強硬外交を以て臨むべしとするものと、文化政策を以て對すべしとするものとである。斯る見解の相違に胚胎する、田中首相及その取巻は、支那通は「今日迄は強硬一天張」であり、洞喝を以て臨めば、支那人はヘコむであらうといふのである。此遣り口は十年前迄は確に成功した。然し今日の支那に對すべき方法は餘程考慮を拂ふべきものである。田中首相が今次の支那の動亂に於いて、嘗て試つた政策は未だ其利害得失は、我國の政策は朝野共に強硬である、然し南京政府に對する支政策では國論の統一がない。

◇

尤も滿洲問題に關しては、民政黨及び其系統の滿洲政策は、唯權益擁護のみ強硬である。此派の意見は、我特殊利權を侵害されれば、その政體は問題でないといふのである。我國の輿論、亦大體此線に沿する內政干渉は不當である。致し居る。從つて田中內閣の所謂「旗揭」に反對とは、強硬論に於いて相違があるのである。特殊利益の擁護といふ事は、經濟上の主張である限り、外國に對するも聞ねよいが、內政干渉になると、今日の國際政局には、多分に危險性がある。今回のように、奉天が日本の諒解を破つて青白旗揭揚を斷行することが事實になると、我政府の遣り口には、其儘だ黙するであらうと思ふ。

◇

今日の國際政局に最も危險なるは日本の對支政策である。英國の本の對支政策である。日本は今最も支那に於て、經濟的に發展しつゝある、國の活躍は近米國に類する遣り口を行つて居ると、日支間に干渉を始めるとも限らぬ。今年の秋の大統領選擧が終つて其相違が全國民の血の代價を拂つたことによつてもそれは各國とも知悉するであらう。滿洲は日本の國土保全のため絶對緊要な吾が生命を握る地である。理論はさうにでも付かう、しかし事實は嚴として爭はれぬ。滿洲に對する日本の立場は單純に經濟的であつてなん等領土的野心のなきことは聲明するまでもない。日本はその故に、支那のみならず他の如何なる國とも滿洲の地の含む自然の富源を開拓し爲に同する事を躊躇しない。

◇

揭揚は日本の勸告に依つて、奉天側が思ひとまり、東三省は國民政府の統一の外に、獨立した管區を持つ筈であつた、半月の日を經ぬふ、早くも此諒解が破れるのでは、日本政府で驚くも當然のことである。

◇

米國は國民政府を援助し、之を強固にせしめやうと、懸命の努力を試みて居る。明治維新當時の英國の薩長援助に劣らざるものである。斯うして支那外交でも、米國は日本の政策に干渉を揭げて、滿洲人權擁護を主眼とし、支那全體を相手として、我國策を沈めるべく政策を講ずねばならぬ。然し田中外交は結局拙い。日本は內政に干渉を揭げて、滿洲人權擁護を主眼とし、支那全體を相手として、我國策を沈めるべく政策を講ずねばならぬ。然し田中外交は結局拙い。日本は內政に干渉を揭げて、滿洲人權擁護を主眼とし、支那全體を相手として、我國策を沈めるべく政策を講ずねばならぬ。

◇

支那に於いて、經濟的に發展しつゝある、國の活躍は近米國に類する遣り口を行つて居ると、日支間に干渉を始めるとも限らぬ。今年の秋の大統領選擧が終つて其相違が全國民の血の代價を拂つたことによつてもそれは各國とも知悉するであらう。滿洲は日本の國土保全のため絶對緊要な吾が生命を握る地である。理論はさうにでも付かう、しかし事實は嚴として爭はれぬ。滿洲に對する日本の立場は單純に經濟的であつてなん等領土的野心のなきことは聲明するまでもない。日本はその故に、支那のみならず他の如何なる國とも滿洲の地の含む自然の富源を開拓し爲に同する事を躊躇しない。

◇

日本は今國民政府を援助し、之を強固にせしめやうと、懸命の努力を試みて居る。明治維新當時の英國の薩長援助に劣らざるものである。斯うして支那外交でも、米國は日本の政策に干渉を揭げて、滿洲人權擁護を主眼とし、支那全體を相手として、我國策を沈めるべく政策を講ずねばならぬ。然し田中外交は結局拙い。日本は內政に干渉を揭げて、滿洲人權擁護を主眼とし、支那全體を相手として、我國策を沈めるべく政策を講ずねばならぬ。

◇

日本は內政に干渉を揭げて、滿洲人權擁護を主眼とし、支那全體を相手として、我國策を沈めるべく政策を講ずねばならぬ。

◇

日本は今國民政府を援助し、之を強固にせしめやうと、懸命の努力を試みて居る。明治維新當時の英國の薩長援助に劣らざるものである。斯うして支那外交でも、米國は日本の政策

漸く出來上つたレーズンプール草案

近く大會にかけて實行に着手の豫定

（市支部報）一部レーズン栽培者の間に運動中のアウトサイド・プールの具體案が昨夜の創立委員會で作製せられ近く中加各地の當業者に提示される筈であるが、その主要點を掲ぐるとみざは組合員との故障契約の書一、ユーナイテッド・レーズン組合と稱する組合を設立しこれに加入する耕作者の業加數が相當のコントロールをなし得るまでに達したるとき實行に入る

一、組合員との契約期間を十年間とし一九三〇年十二月以降毎年一月に脱退の自由を與ふ

一、バッカーに賣渡す値段は組合重役會にて決定するが最低値段を

トムソン　一斤　四仙
マスケット、ソルタナ、マラガ　一斤　三仙五厘

として組合員への支拂ひを無利子で本年度の收穫より開始さるべき年二回とす但し一斤に五厘つつを組合費として控除す

一、アウトサイドプールは組合員の取扱高の三分の二以上の賛成を得ざること

一、バッカーは組合のレーズンを賣渡すまで他より買入るこを得ざること

一、創立委員選挙はみざの副産物にあつべき量を決定する重役會は一萬弗以上の資産あるものを選ぶこと

一、組合は重役が決定したる値段より低く他のバッカーに賣り渡さざること

一、バッカーは組合のレーズンを賣り

七十八回の加州誕生日お祭

州全體に大騒ぎを演ず　昨日行はる

昨十日は加州のアドミッション・デーで即ち加州加入記念日で加州が盛大な星條旗にかへてから滿一十一月十日で丁度七十八年目である昨日午後三時から市内を通る馬に樂隊行列があつた桑港市の樂隊はオークランドホテルやオークランドでは加州見物へ乗りだして大演奏をやつた

世界水泳界の驍將

一行五名來桑す

大朝の招聘で明日發　大洋丸で日本に赴く

巨人は日本水泳界を語る

大阪東京朝日新聞より招聘され大洋丸で日本に赴く世界水泳界の巨人ワイズミュラー曲跳世界選手のヘレンミュラー嬢および水泳選手ボール・ワイフト、同ウオルター・ラウファーの四名選手は獨逸ドクター・ヴェ・デ・エルスキー氏同伴昨朝八時三十五分オーランド・リミフトで來桑し聖フランシス　ホテルに投宿した一行四選手はいづれも世界レコードの所有者で

水泳界の巨人今回の日本行は各方面より非常に興味をもつて迎へられてゐる、一行はウオルター、ラウファー氏がのぞき他は全部日本行が最初の旅行だといふので非常な期待もつてゐるが、日本行に關して選手連は交々語る

將來日本は世界的の大選手を出す

ルダムにおいて親交を重ねしかも競技のありしかも壓倒的な競ひでそれ氏は日本選手高石氏殆ど全部の狀態だから同業者としてこの邊に關係上時來日本水泳といふものに對しこふも熱心に研究を思ひたつてゐる

折柄大朝の招聘はわれ等にとつても非常によい機會であつた、なほ將來の日本水泳界はわれ等の見る所では非常に有望なるこの際進んで會費を收められたいとの希望である。なほ日本人のよい人を依然として歡迎するなければならぬ」

我子の通ふ學校の爲

母が協力盡しませう

婦人級にも入學を希望

ラ校母の會が會員募集

邦人兒童の多數通學してゐる市内ラファエルウエール小學校の母の會では、今十一月から一齊に開始される市内各學校の母の會と共に、新會員募集に活動することになつた、周知のごとく同校は人兒童就學してゐて、或るクラスのごときは一級卅五名のうち、三十人は國語子弟で占め殆ど日本人のクラスといつて差支へないほど、全體としてもの邊に

我等同胞のための小學校さいふ觀あり、今學期の新入學生も百餘名を加へ、總數で二百餘の兒童を抱擁してゐる、四夫人で、會費は一ケ年一枚の四人で、毎月一回づゝ開會

開拓者の悲慘な最後

副島翁慘殺事件

犯人は墨國人ホセカルベス

エルモシヨ市日會詳報

九月三日午前十時頃、市警察より本署に電話を以て前記兩名がエル　カリナルの自宅において慘殺事件を報ず。依つて本署においては、たゞちに警部を警察に出張せしめ、その報告を待つて善後策を講ず。一方、官憲には犯人の逮捕に最善の努力を盡すと共に、その手段を講じ、檢死官醫師、警察官、寫眞師等と共に本會より會長二名を派遣のこゝより會長二名を派遣の午後四時現場に向ひ出發。警部長以下役員

故人生前における物品の貸借及び貸金預金等を詳細に取しらべ、また故人は生前ながら加州在留者に關係上、同方面は知人も多數あり、且副島氏は加州に在留（在不明）居ることなれば、取敢ず兩名に電話を打つて同時に警察官に犯人追跡の方向及びその模樣等を電話を以て東南西走一時もはやく犯人の逮捕に努む、本會

太公望

御用心

すんでの事で海の藻屑に

櫻垣ドクター夫妻および馬場氏「虎穴を入らざれば虎子を得ず」の諺通り、ルデングも、横路もあらゆる設備の完備優秀をこつたさて、一向不出義なく驚くに當らない。わが日本へこれだけの富と物資をあたへたなら、より優秀なるお目にかけうと信ずる。あの未曾有の災復興事業なさ、苦しい國庫から七億五千萬圓を捻出し、殆ど潰滅した東京流通部市の復興に努力してゐるのだが、ルデングの、横路もあらゆる設備の歌に、遜色を見ぬ人の出現しない事に、ポート諸共に海の藻屑となつて、一向不出義なく驚くに當らない。わが日本へこれだけの富と物資をあたへたなら、より優秀なるお目にかけうと信ずる。あの未曾有の災復興事業なさ、苦しい國庫から七億五千萬圓を捻出し、殆ど潰滅した東京流通部市の復興に努力してゐるのだが、ルデングも

山中部日米
(毎火曜日發行)
鹽湖支社 ユタ州ソートレーキ市西第一南街一四四 ユタ州オグデン市 電話四三三

歸國を斷念して子孫の發展を計れ

日本女性の美点を忘れるな 母國代表石川女史の大講演

ホノルル市における汎太平洋婦人會議に出席した日本代表横濱ゆき女史は去る十日夜ユタ日本學園の客となり午後八時から市立高等小學校の石川女史は去るに支配され兒童教育に重大な責任ある女性が童謡を親しませる事が日本婦人の有する女性美である」

この個性教育主義は決して新しいものでなく、我が神道、儒教、佛教が混成した日本固有の思想で明治維新後に一時盛んになへられた歐化主義のために忘却されてゐたものであるが今日呼び起されたものであるが「破壊」といふにあつた。

教育制度の下に於ては個性を主張する所

橡の下の土蔵石としてかくれた處に偉なる力をひめ、後か殖し、地上の蔓にはトメが繁る。今日の蔓には「なまじいに人口過剰な日本人の有る女性美である」

個性主義

教育「新教育」についても

個性教育

教育

教育

南加版

支社電話MUニューザムフー八四一五

レタスパッキング 十分注意せよと

市場監督官最近の出荷の亂雜なのに驚いて 一般出荷者へ注意

最近羅府農産物市場に出荷されたレタースパッキングが亂雜なつたので市場監督官は各出荷人に能率組合に注意を與へたの規定なる農業組合に便宜を計るから耕作者は組合まで申出られたしと農業組合で出荷する旨を發表した

一、スタンダードパック、三ダズン、三半ダズン、四ダズン四半ダズン、五ダズンは何れも外側に附したる數より増減あるべからず

二、エレギュラーパック右は各個數を表に附したる以外三個以上の相違あるべからず

三、カードを附する事トメートを問樣左の事項を書き入れたカードを附すること生産者の名前住所詰込み個數

右のカードは即ち、南加農業組合に於ける規定なる農業組合で便宜を計るから耕作者は組合まで申出られたしと

吉岡彌生氏 來羅

十日の朝到着

羅府同胞が生んだ女ちやん、女ちやんは當市でだダンサー、女ちやんは當市で生れた二世でラムスダル氏の師弟としてダンスの稽古に夢中になつたのだけに遂に天女の才を認められ師匠の驚嘆弟子となりを劇場から出演を求められ父川端亜平氏は御師匠を通じて紹介さなく出演交渉があつたがやつと今回本人も出演する氣になつて今日本人は出演する

ダンスの天才たる 文ちやんの出演

羅府同胞が生んだ踊子 師匠の秘藏弟子となり 口座で昨夜から

一、そしてその將來を認められ昨年渡米し演藝に從事してゐたが大正八年二月十四日頃より郷里と正八年二月十四日頃より郷里と一週間毎日四回の音信が絶つてしまつたので父川端氏は御師匠を通じて浅五郎初め家族は非常に心配し匠についたは遂昨日の暮であつたが今回領事館に宛て同人の捜索を出願して來たらゆるダンスを習得し今では何處に出しても恥しからぬダンサーとして世界的舞臺に立つ日を待つ

漁業家の息を 父が尋ね

郷里の一家は困窮に陥る

原稿神奈川縣足柄下郡酒匂村八幡在の本多徹太郎は明治四十四年渡米し演藝に從事してゐたが大正八年二月十四日頃より郷里と一週間毎日四回の音信が絶つてしまつたので父浅五郎初め家族は非常に心配し匠についたは遂昨日の暮であつたが今回領事館に宛て同人の捜索を出願して來た

市運動課の主催で 水泳の大競技會

人種國境の差別ないから 我と思はん者は出場せよ

清水主事が斡旋する

羅府市運動課では先に市内青年就業者の陸上競技大運動會を擧行し非常に盛大を極めたのであつたが來る十五日には同じ運動課の催しにてダイヤフィスパーク蛇沢水泳場にて水泳大競技會が催さる、客である、これに加入するのは何人でも自由の廣店に働いてゐるものや過去に於て水泳の教師をしたことのないもの、人種國境の別なく敷迎する。

清水事は語る「先づ第一の陸上運動會の時アメリカ人の水泳者は四百ヤードの競走に出場して一等賞金メダルを貰ひ日本人の方が先方では言を左右にして誠意がないので今回藤井ライの岡氏を通じて正式に申込する事になり十三日羅府出發の筈

御大典紀念 バッヂ

十二日に審査す

南加中央日本人會では先般來御大典紀念バッヂの圖案募集中であつたが八日を締切とし來る十二日に同會事務所にて審査をなす事になり優秀な當選者には十五弗の賞金を贈ると

水戸黄門の 封切り

見逃しならぬ映畫

南加中央日本人會では先般來御大典紀念バッヂの圖案募集中であつたが八日を締切とし來る十二日に同會事務所にて審査をなす事になり優秀な當選者には十五弗の賞金を贈ると

日活本年度春季超特作として有名な水戸黄門記念編一萬尺が到着した日本の隅々まで大好評を博し黄門記念なくてはならぬまでいはれた大映畫で日吉川秋月君が辯士として出演見逃しなき映畫である

帝國貿易と 清き歩み

醜にでも貸す ラヂオ部の活躍

東一街帝國貿易では目下蓄音機ラヂオ部の活躍で目下蓄音機ラヂオ部の新婚として清金シヅ子さんは大洋丸にて渡米六月末日來て顧客の便を計つてゐるがラヂオ部は北加アキャンボ力若の新婚として清金シヅ子さんは大洋丸にて渡米六月末日來て顧客の便を計つてゐるがラヂオではスチュリート、ワーナで生れ幼時離國して郷里で成長した人で先般力若が歸國中長編に接續せしひれ水結ばれたものである

竹田力氏の 新婦渡米

清金シヅ子さん

廣島縣人會幹事竹田順一氏の弟

綿貫譽氏が 火曜夜放送

ハーモニカ 驚異を與へた

市内外數所に於て吹奏し多大の好評を博し米人間に驚異を與へたハーモニカ名手綿貫譽氏は水曜番組の紹介にて來る十一日火曜日午後六時十五分より同四十五分の間にクーエッチジェー局から得意の數曲を放送するうである

愛憎乱麻

下村悦夫作

（一九四）

去り氣なく装ひながらも瑠璃の胸はいひ樣もない悲しさ。

「……？」

「……？」

「……？」

フレスノ（九日）

恩讎を忘れて乾果業者が握手

加州乾果協會に二大組合の加盟

加州乾果協會といふ一機關に今迄事情があつた然るに近頃に同じレーズン會社と加州桃いちいたり二者とも獨自的地位を失ちく組合がメンバーとなつて加ひ綿密たる競爭的地位に立つこと入したが元來加州乾果協會といふのはシー ビー シー ボナー パッキング會社グラゲンハイム リービー マクネール ローゼンバーグ兄弟 リチモンド チエニース會社 加州プルーム アプリカット組合等がメンバーとなつて組織してゐるものでその目的は一億萬弗の年收のうち稍せらる加州のドライフルーツ產業を共存共榮せしめんために協力一致するとある從來レーズン會社としても桃フィグス組合としても同じく乾果その他產業の目的物としてゐた以上當然この乾果協會に加入すべき筋合のものであつたこの二つとも獨自的地位を固執してゐるわけで無益爭鬪が相互の間に記した諸商事會から除去されるものとして一般に歡迎されたが加州乾果協會といふ一機關に今迄事情があつた然るに近頃に同じレーズン會社と加州桃いちいたり二者とも獨自的地位を失ちく組合がメンバーとなつて加ひ綿密たる競爭的地位に立つこと入したが元來加州乾果協會といふのはシー ビー シー ボナー パッキング會社グラゲンハイム リービー マクネール ローゼンバーグ兄弟 リチモンド チエニース會社 加州プルーム アプリカット組合等がメンバーとなつて組織してゐるものでその目的は一億萬弗の年收のうち稍せらる加州のドライフルーツ產業を共存共榮せしめんために協力一致するとある從來レーズン會社としても桃フィグス組合としても同じく乾果その他產業の目的物としてゐた以上當然この乾果協會に加入すべき筋合のものであつたこの二つとも獨自的地位を固執してゐるわけで無益爭鬪が相互の間に記した諸商事會から除去されるものとして一般に歡迎されたが加州乾果協會の理事會が昨夜の理事會まで保留することになつたこの組合で負擔することになつたその他產業方針販路擴張等に一歩踏み出すことが可能となるこの點が殆どその一部費用を負擔してゐたが爲今迄到着せず遂に流産となつたが來る廿二日（土曜）夜に例會を開いて大會準備をする由

そのため從來互に商敵として睨みあふてゐたが加州乾果業者がたがひに握手親和して共存共榮の實を擧ぐる希望が若干程度まで實現されることになつた次第でその一二を擧ぐれば

レーズン會社の所信であつた副產物製造實驗所の如きは今回乾果協會の經營に移つたレーズンの廣告の如きも從來ではレーズン會社が殆どその費用を負擔してゐたが爲今迄到着せず遂に流産となつたが來る廿二日（土曜）夜に例會を開いて大會準備をする由

●中島裁之氏來布 熊本縣下の志士中島裁之氏昨日來布近く講演會開かるべしと

●歡迎電話 市內加田銀鏡學校に電話を架設したが番號は三一一九五六

●出生 市郊外廣島縣人岸本一男氏長男博去る三日江田產院にて

●羅府へ移轉 市內に永く居住はいよ〳〵昨夜汽車で羅府に移轉したが見送り人多數たつた

●パーソナル 市內池田杉松氏 陸佐藤宅桑港の令聞はその後の經過良好のよし▲しばらく滯布中であつた增田信藏氏夫人は出迎への夫君に伴はれ羅府へ南加方面にありし太田百合子嬢は歸宅し近く布市大學に入學すると▲本日午前十時ユニオン三郎氏夫人副島翁遊蘇井一枝

●客附 深川吉十郎氏南加移轉

●記念として親睦會 同學園同婦人會へ各五弗づゝ

●病院だより ダイエューバ唐岩氏退院（小此木病院）

●バーソナル 鶴島牧師一昨夜帰布した

オークランド

王府日會 參事員會

來る十三日（第二木曜日）午後八時より同會議室に於て定期參事會を開催し御大典奉祝會を決定し又奉祝會に關し具體的の方針を決定し射撃營市郡語學校にては八月十三日より九月一日迄林間學校を設

懸賞演說會やフートボールチーム

中加青年の新活動

布市青年會聯盟の理事會が昨夜の理事會まで保留することになつたこと

共進會入賞者

一 懸賞演說會 を十月廿七日（土曜）夜開催すること各青年會より一名以上の弁士出演すること一たゞしその門外の希望者は志願弁士を歓迎す題は弁士の自由選擇とす二週間前に各青年會は出席弁士及びその演題を聯盟まで出すること

一 蹴球チーム 聯盟結成の一つとして編成すること學校團始の後練習を始め部署を定めること

これに要する費用を年五百弗とし角力大會の併立する勝盟の運動競技部とすること

右フートボールチームに既に加入の內諾を與へたのは本田 中村 松井（バレヤ堂本（ナンガー）大仲（ファラー）森島（リードレー）清水（クロビス）熊野 吉川弟 籠村 河合 佐倍 刀納 中尾 金瀬（プレスノ）（ボールス）の諸青年で編成し男頭戰として森聯盟結成の昭和チームに挑戰する意氣込みであるなほ御大典紀念事業 秋期講習會の二件は次回に

布軍長蛇を逸す

戰鬪精神の薄弱で

白人好球家の興味を煽つた布市野球團對タイガー團三回試合は本日ファイヤマン球場で行はれた最初から敵にのまれた觀戰團は殊に內野が午睡狀態的であつたことは近頃の遺憾であつた布市野球團は鍵村を失つて以來內野に何等の緊張味なくしたがつて試合に喫緊な戰時より同會議室に於て定期參事會を開催し御大典奉祝會を決定し射撃營市郡語學校にては八月十三日より九月一日迄林間學校を設

遠山滿一座 再興業

灣東學園主催

灣東學園では募集の目的大好評を博した劍劇遠山滿一座を聯盟し來る十六十七十八月曜日の夜開演することに過日の幹部會に於て決定した觀覽は近日發表すべき入場料は大人一五十仙小供五十仙なりと

●獨立教育青年會 夏期中休みとなつた同青年會は來る十六日第一日曜夜再び活氣ある集會を開催し井芹たつ子以上四名ユニオンハイ大鳥生はメリ村女夫 林田女夫 黑川優 井芹たつ子以上四名ユニオンハイ學生大崎隆 栗原勇 蘇以上三名なりと

●橋本夫人歸布 ユバシテー在住幼稚園教學校等にても午前八時より事務受つけさるゝよりなれば子を持つ親にて本學期より入學させる希望の方は八時より何時にても御出席ありたしと

●公立學校始業 常市ユニオンハイ及びグランマースクールは來る十七日（月）より始業因に本期ユニオンハイ大鳥生はメリ村女夫 林田女夫 黑川優 井芹たつ子以上四名ユニオンハイ學生大崎隆 栗原勇 蘇以上三名なりと

講演會

サンマテイオ【九日】

●來たる十六日（月曜）は日本學園母の會の例會に當たれるが今回は桑港金門學園の鈴木園長より日下濱桑中なる沢太平洋婦人會に出席の河口女史東京氏を招き子女教育上ならびに節約の要點につき講演を承ることとなつたなほ同會は例會通り午後二時開場未定なるも多分マゾニックホールなるべし決定次第一般有志へ來聽あらんことを希望し居れり

●釣魚競技 常地釣魚クラブは本日の日曜ゆ一しゃるピーチ會長政所繁志 副會長三木勉 會計鄭中清 會計板藤半龍樹 改選部長溝口修 庶務部長中田嘉子 以上役員並に幹部の選擧を催ふす

●青年會 市內池田杉松氏 陸佐藤宅桑港の令聞はその後の經過良好のよし▲しばらく滯布中であつた增田信藏氏夫人は出迎への夫君に伴はれ羅府へ南加方面にありし太田百合子嬢は歸宅し近く布市大學に入學すると▲本日午前十時ユニオン三郎氏夫人副島翁遊蘇井一枝

●寄附 深川吉十郎氏南加移轉

●記念として親睦會 同學園同婦人會へ各五弗づゝ

●病院だより ダイエューバ唐岩氏退院（小此木病院）

●バーソナル 鶴島牧師一昨夜帰布した

オークランド

亞市婦人會 役員改選

亞市南美以教會新年度役員改選の結果左の諸婦人當選したと

山本つね子 六谷雪代 大場くら子 瀧井瑛子 柳生はる代

なほ同教會に於て今回新設したジュニアエポース リーグは遺事の結果役員は左の如く決定せりと

會長政所繁志 副會長三木勉 書記藤半龍樹 會計鄭中清 庶務部長中田嘉子 改選部長溝口修 以上役員

●寄附 東金五郎市南美以教會へ政所平三郎氏より女久幸一週年紀念のため金十弗

●獨立教育 尾崎執事司會 題は（救の喜び） 尙人村氏の感話

◎亞市南美以教會 司會者 花村和吉氏

◎夢瀛美以教會 基督教會に於て聯合祈禱會

◎夢瀛基督教會 自由美以聯合

◎夢瀛美以教會 會堂に於て

メリスビル（日）

林間學校終り

御手洗 魚料理 愈々秋期始業 明治始 モントレー市 フランクリン街一一六 電話一六七七

すき燒 わかば

御手洗 魚料理 愈々秋期始業 明治始 モントレー市 フランクリン街一一六 電話一六七七

水曜の新禱會 十二日 午後八時

◎獨立教育 尾崎執事司會 題は（救の喜び） 尙人村氏の感話

◎亞市南美以教會 司會者 花村和吉氏

◎夢瀛自由美以教會 基督教會に於て聯合祈禱會

◎夢瀛基督教會 自由美以聯合

◎夢瀛美以教會 會堂に於て

みかどホテル

布ツラレ街一四一三 上候 電話三一三八〇

河沼 事務所

加州佐市北第四街八九 日米興行會社支部 加州桑港協會本部

今岡究師

大馬鹿 日本鍼灸專門學院會長 電話コロンビヤ一六〇W

中尾式灸治療法

拯療治並に灸、鍼 カード・ホテル 電話コロンビア四三九

中村

私儀今回貴宅長經營の中王府ホテル內 御御御

サクラメント（十一日）

櫻軍スター對桑港昭和野球戰

三對零で昭和軍勝利す

昨九日の日曜午後二時より櫻軍午後六時から市内エル街の丸スターはヨー野球場で桑港昭和軍と試合をなしたが、昭和は正攻撃をもって櫻軍をむかへた。昭和は正攻撃をもってきた力士の熱勞ならびに祝勝會をスターは新進の新鋭投手賞をもよほしたるが盛會であつたこと。

第一回より四回までは投手の猛球打者の快撃水きだつたるが守備は見られなかつたが試合は接戦のまゝに白熱化して第五回にいるや昭和軍は中堅の球をうるやり打順はよし林植田の二塁三點を抜き櫻軍は八日午後六時から市内エル街の丸スターは桑港昭和軍と試合をなしたが、昭和は桑港昭和軍の新鋭投手賞をもよほしたるが盛會であつたこと。

櫻軍は

A Newspaper For All Peoples Interested In The Welfare of Japan And the Japanese People

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

The largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

NUMBER 10371 | Entered at the S. F. Post Office as Second Class Matter. | SAN FRANCISCO, CALIF., TUESDAY, SEPTEMBER 11, 1928 | Copyright 1928 by The Japanese American News | Per Month $1.00 Per Year $11.00

AMBASSADOR DEBUCHI SAYS HE WILL NOT AGITATE FOR A CHANGE IN EXCLUSION LAWS

Japan Will Leave It to America's Sense of Justice To Modify Immigration Act Avers New Envoy

By MILES W. VAUGHAN
United Press Staff Correspondent

TOKYO, September 12.—(UP)—Japan will leave it to America's sense of justice to modify the present American immigration law and put Japan upon a quota basis, Katsuji Debuchi, new Japanese Ambassador to the United States, told the United Press in an interview.

"We hope that in time what we know to be a deep-seated American sense of justice will prevail and the present immigration law, excluding Japanese emigrants from the United States wil change in a way which will make it acceptable to the Japanese people," Debuchi said.

"As ambassador to Washington, I will not of course agitate the question. I will be ready to point out the Japanese viewpoint any time I may be requested to do so, but I will not set about seeking the opportunities."

And as regards the Japanese viewpoint, it may be said, there has been little change as far as foreign observers in Tokyo can see, since the wave of indignation which swept Japan when adoption of the law became known here. Japanese have not forgotten the immigration issue, which they consider a blot on their national honor, nor are they likely to do so.

Japanese diplomats generally do not like to discuss the exclusion issue, and Ambassador Debuchi is no exception to the rule. His remarks during a long interview granted the United Press correspondent in his rooms in the Foreign Office here were limited to the words in quotation above. That he would consider any change in the immigration law favoring Japan during his tenure in Washington, however, as a great victory, there can be no doubt.

To any Japanese removal of the exclusion clause and substitution of a quota basis—no matter how small the quota might be—would be a tremendous personal victory and would be attended by an immense sense of personal relief. For as long as the exclusion cloud, tiny as it now is, remains on the horizon of Japanese-American relations, there is always a danger that it may grow into a dangerous storm which might endanger the whole of the great Pacific area. Ambassador Debuchi, however, refuses to consider the immigration issue as a menace.

Owe Cultural Debt.

Culturally, the Ambassador said, Japan owes much to America, and she hopes and believes she has given and will continue to give the United States something in return. European civilization has come to Japan largely via America and American science always has played a leading part in the development of Japan. In engineering, sports, industrial organization, railway development and even in many of the personal habits of the Japanese people the American influence for long has been predominant.

With regard to China the Ambassador said:

"For a quarter of a century I have been constantly in contact with Chinese affairs. I have served in the Legation in Peking, I was in Korea before that country became a part of Japan, I was one of the commissioners in the settlement of the Shantung question and I was with our delegation at the Washington Conference when it framed the document which now determines the general policy of the great nations with regard to the Chinese republic.

"And I can tell you sincerely that Japan has only the most friendly feeling for the Chinese people. A peaceful and prosperous China would be the greatest kind of a blessing for us, for our interest in China is in many ways largely economic—and a peaceful China means better markets. And we do not forget that much of the early culture upon which the Japanese Empire was founded came to us via China. We owe China a debt of gratitude and we wish her well.

To Live as Americans.

The two children of Ambassador Debuchi will attend American schools during their stay in America. The children are Masaru, a boy of 16, and Takako, a girl of 14. With Madame Debuchi they will travel to America with their father, the retiring vice minister of foreign affairs, when he leaves late this mont to assume his duties in Washington.

Both Mrs. Debuchi and myself intend to let the children live entirely as Americans while we are in the United States, the Ambassador told the United Press in an interview.

"We are now looking into the matter of what schools they will attend and their entrance requirements."

Both the children now are studying English, a language which the Ambassador and his wife speak perfectly. The whole Debuchi family for a long time has been very popular with the diplomatic corps and foreign residents generally in Tokyo. Mme. Debuchi, slender and accomplished, is known as a grecious hostess and always is most attractive in Japanese costume which she usually wears in this country. It will be her first experience in the social life of Washington, as she did not accompany Debuchi on his previous visits to the United States. The children also, will see the United States for the first time.

NEW JAPANESE ENVOY

U.P.

Katsuji Debuchi, who will arrive in Washington next month to take up his duties as Ambassador from Japan

CHURCHMEN GIVEN FETE

Methodist Confab Delegates Honored At Oakland

OAKLAND, September 10.—(Special)—The Oakland Japanese M. E. church was host at a brilliant welcome dinner sponsored Saturday evening here at the Hotel Leamington in honor of the pastors and Lay delegates to the annual Japanese Methodist Conference, now in session in this city.

The guests of the evening included about 80 people. Several noted men, including Dr. Kholestedet, secretary of the National Methodist Board of Missions at Philadelphia, Bishop Charles W. Burns, and Dr. Frank Herron Smith, were present. Dr. Kholestedet flew from Vancouver to Crissy field in an airplane in order to arrive in this city in time for this dinner.

The addresses of welcome were delivered by S. Aoki in behalf of the Japanese young people of the Coast, S. Takeshita of the Oakland Japanese church, and Mrs. Isokawa of the Ladies' Society of the church. Rev. Kawashima of Los Angeles responded in behalf of the church.

The main speaker was Dr. Kholestedet who was followed by another impressive addres by Bishop Burns. Rev. H. Arima, pastor of the Oakland Japanese M. E. church, was the toastmaster.

Following this dinner, which ended at 8:30 o'clock, a business meeting of the Methodist Conference was held at the Oakland Japanese church on Tenth and West streets.

PRINCE FROM JAPAN FETED IN HONOLULU

Declares 'U.S. Borns' Must Be True to America

HONOLULU, September 1.—(By mail)—A message from high authorities in Japanese civil and naval circles has been brought to the American-born Japanese of Hawaii. It is this: "Keep the best of the Japanese traits, but be true to America.

The message came from H.I.H. Prince Nobuhito Takamatsu, third brother of the Japanese Emperor, who sailed away after a short visit in the territory as a member of the Japanese naval training squadron, and Vice-Admiral Seizo Kobayashi, commander of the squadron.

Thousands of Japanese subjects, residents of the teritory, have paid their respects to the prince, who is the highest member of Japanese royalty ever to visit Hawaii.

Americans Give Welcome.

Thousands of American citizens gave an enthusiastic welcome to the youthful member of royalty thronging to see him as they would to see a baseball star or an aviator hero.

And thousands of American citizens of Japanese ancestry, greeted the prince in semi-American, semi-Japanese fashion, with neither the democratic freemasonry that characterizes staring Americans nor the deference that characterizes the awe-inspired Japanese.

A large number of American citizens of Japanese ancestry assembled at a banquet given by their societp in honoor of the Prince and of Vice-Admiral Kobayashi. The banquet was probably the least formal of any of the functions given the two dignitaries during their stay in Honolulu.

Formality Broken.

The faces of thise present were Japanese, but their clothing was American. The atmosphere of formality that prevailed at the start of the banquet was broken when the chairman, Clifton H. Yamamoto, a young teacher, introduced S. Yamaguchi, a bank cashier, who was to give the welcoming address to the Prince.

The Prince remained silent during the meal, the response coming from Admiral Kobayashi. He referred to the Japanese-Americans as examples of the assimilation of the race. He challenged the fear that Hawaiian-born Japanese might be more loyal to Japan than to America and he emphasized the part they are to play by bringing the East and West together.

Be Loyal to U. S.

"You of American birth and American citizenship, should be true to your racial characteristics and be thoroughly loyal to the United States of America, to which you give your allegiance," the Admiral told his youthful audience.

"America is the greatest melting pot of the world, wherein we find different cultures and racial traits are working hasmoniously by the priciples of Americanism. Within this harmonious American civilization it is important to note that Americans of various racial origins are contributing toward their country according to the characteristics of the land and race from which they came.

"Americans of Japanese parentage should contribute their part to America from peculiar angles of their racial charateristics—namely, loyalty to their country and perseverance in the tasks they set out to do.

"The second generation of Japanese in Hawaii have a great part to play in bringing about international cordiality, particularly between Japan and America. They can fulfill this mission by becoming thoroughly loyal American citizens."

Hughes Accepts Appointment to the World Court

GENEVA, Septemb 10.—(UP)—A telegram from Charles Evans Hughes was read to the assembly of the League of Nations today, accepting his election as a judge of the World Court and expressing appreciation of the honor.

Japan Officials Face Problem of Women Employment; Economic Pressure Causes 100,000 Women To Seek Work in Nippon

TOKYO, September 10.—Japan is faced by the problem of a steadily increasing number of woman workers, and a conference was held recently by the four regional bureaus of the ministry of home affairs to seek a remedy.

New and unprecedented difficulties are arising. The increase in woman workers is one of the reasons given by the metropolitan police board in explaining the increase in suicides among working men. Only 664 men ended their lives voluntarily in 1924, but in 1925, 849 men committed suicide, and the police authorities see economic conditions behind a large proportion of the cases.

Many Employment Agencies.

Woman day laborers are to be seen in Tokyo assisting in the driving of piles for foundations of modern steel structures, shoving barges through the city's canals by the use of 30-foot bamboo poles, and at other tasks. But the problem of the woman outdoor worker is an nothing compared to that of the indoor factory workers.

The rental conference dealt with the method of employing woman factory operatives with a view toward protecting their interests. The part played by reckless employment agents was a major topic at the meeting.

Agents Recruit Workers.

Factory workers are recruited on a commission basis by these agents, it was explained. They may be representatives of particular factories, but usually are not. The commission charged by these agents force the woman workers to remain at their jobs many months before they can become free of debt.

The employment agents tour the country regions, making house to house calls upon the agricultural families, and as many of them are extremely hard pressed for money they accept a cash payment in advance for their daughter's wages.

Average 50 Cents a Day.

A few startling facts are revealed by government statistics. The number of women who applied to public employment offices for work in 1920 was 5,600. In 1924 the number had leaped to 82,000 and steadily increased until it reached the 100,000 mark in 1925.

The average wages they earn in the majority of cases is reported to be about 50 cents a day. Some, however, earn as much as $1 or $1.50. The majority of those employed on monthly salaries are receiving from $5 to $10. The highest paid women receive $15 to $20.

JUNIOR SECTION

TODAY'S BIRTHDAY

Ayano Sumida of Modesto is 13 years old today. Best luck to you Ayano, and hope you'll have a very joyful birthday.

—Junior—

The following had their birthday yesterday, but due to the fact that our English section didn't come out on that day we are inscribing their names in today's birthday roll:

Henry Hiroshi Honda, of Berkeley, age 10; Tomiko Yano of Bellflower, age 13; Chizuko Inouye, age 11, and Taeko Noda, of Woodland, age 12.

Well, here's best luck to every one of them. The Junior Club wishes them many happy returns of the day.

—Junior—

Gloria Shirakawa, who is a Junior member from Sacramento, wrote us that she has been busy helping her parents but she is going to write oftener for our column.. That's fine, Gloria. Thanks for your letter. Here is her joke:

Stranger: When does this hog calling begin?

Native: Why, it's all over now but the shouting.

—Junior—

Here's a delightful letter from Betty S. Yamamoto, age 12, who lives in Wheatland, California. She writes:

I have not written for a long time because I was busy picking peaches. But now the peaches are all picked, and I guess I'll have a good rest before school starts. I would like to go to Japan to see Mt. Fuji, but I cannot. I think maybe I will when I grow up.

—Junior—

We really hope you'll get your wish to go to Japan, Betty. Won't it be grand to see the wonderful old.. temples.. and.. the.. beautiful cherry blossoms all over the hillsides, with people walking in kimonos under those bright parasols? If you wish long and hard enough you will get your wish some day. Here are some of the jokes Betty sends in:

—Junior—

First farmer: That city girl is sure dumb.

Second farme: How so?

First farmer: She looked at my windmill and then wanted to know if anybody was hurt in that airplane wreck.

Here's another one of Betty's jokes:

I don't know which girl to take for a ride.

Why don't you flip a coin?

I did, but it didn't come out right.

—Junior—

Here is another interesting letter. It's from Hanako Yamamoto, Betty's sister:

Every.. day.. I.. used.. to.. take.. my bucket and go out among the peach trees and pick. Oh! my, but it sure was hot in the afternoons. I sure ame glad we are through now for I am just tired of looking at the peaches.

My but the Junior Section is getting more interesting every day. I could just hardly wait for the paper to come. I hope all boys and girls join the Junior Club and make it more interesting than ever. I shall always remember Our Junior Club.

Here is her riddle:

When can a man walk 30 miles per hour? Ans.: Man walking on a freight train.

Here is another riddle from Hanako:

What tire on a car runs as far as the car travels but still does not wear out? Ans.: Spare tire.

—Junior—

Thank you for your letter and interesting joke. When you send in your jokes next time, please send in your birthday and age as we forgot to put them in our files.

Smallpox is Waning

GENEVA, Sept. 10. — (UP)— A Smallpox in European countries has markedly decreased during the past few years, according to a report just issued by the Health Organization of the League of Nations. Great Britain is the single exception, there being a steady increase in the number of cases officially reported since 1920.

STENOGRAPHER WANTED—Experienced stenographer with shorthand ability. Apply Harry, care of Pacific Trading Company or phone Suttter 270 for particulars.

WEISMULLER WILL GO ON JAPAN TOUR

American Swimming Champ Here On Way to Orient

Johnny Weismuller, America's greatest swimming star, acompanied by three other well known aquatic performers, arrived in San Francisco unheralded Monday morning on his way to Japan, and was welcomed by K. Asano of The Japanese American News representing the Osaka Asahi News and P. A. A. delegate of the Showa Club.

With Weismuller are Helen Meany, world fancy diving champion and holder of 16 national championships; Walter Laufer, world record holder for indoor back-stroke; Paul Wyatt, backstroke and freestyle swimmer, and Dr. and Mrs. M. F. D'Eliscu, chaperons of the party.

Dr. D'Eliscu, who took the American Olympic swimmers to Europe, gave a very favorable comment on the Japanese swimmers. "Tsuruda, if he should train carefully," he said, "will be able to break the world record and set up such a high mark that no one else will approach it for some time. He has a terrific arm which he sweps all the way down to get the speed. Takaishi was by far in better condition at the Hawaii meet than he was in the Olympic games. The coach expected too much from him and it was a foolish plan to enter him in so many events. Takaishi could not sleep at all, due to nervousness acquired from overexertion."

Weismuller affirmed Dr. D'Eliscu's views by declaring that no swimmer can stand the mental strain undergone by Tsuruda after having met so many unnecessary defeats. Both Dr. D'Eliscu and Weismuller were of the opinion that with good coaching Takaishi will be able to cut down two seconds from his present time in the century freestyle.

All of the members of the party are in excellent condition, and went to the Sutro tank Monday morning immediately after their arrival at St. Francis Hotel. They will do some shopping today, and after another series of practice swims Tuesday, they will leave San Francisco Wednesday on the S.S. Taiyo Maru.

They will participate in an international contest at Tamagawa Pool in Tokyo around October 13. They will later appear in Osaka and several other exhibition swims.

This is the first time that Weismuller, Miss Meany and Paul Wyatt will go over to Japan. They intend to remain for two months.

BISHOP BURNS DELIVERS INSPIRING SERMON BEFORE BAY JAPANESE CHRISTIANS

Showa Trounces Sac'to Nippons By 3 to 0 Score

Shattering all predictions the Showa Club nine defeated Sacramento Nippons Sunday afternoon at the Sacramento grounds by a 3-0 score.

Both teams played evenly until the third canto when Showa began to let their steam loose, scoring three runs. From then on until the last inning the Showa played a shut out game against the capital city boys. Tad Nanbu's ball proved too effective for the northerners.

The Sacramento Nippons defeated the Showa nine last season and won from the Florin Taiiku at the San Francisco Taikai.

Starting October 1 the Showa club will take up football and will organize both the regular and probably light weight teams.

"Our Brothers From theOr ient" Is Topic of Address

BERKELEY, Sept. 10.—Bishop Charles W. Burns, head of the San Francisco Area of the Methodist Episcopal church, delivered an inspiring sermon Sunday evening at the local Trinity church before approximately 1300 people, including a large number of Japanese from San Francisco and the East Bay cities.

"Our Brothers from the Orient," was the subject of Bishop Burns' sermon, and his appeal for more earnest Christianity and spirit of brotherhood in our mission in the Orient evoked much enthusiastic comment among the members of his congregation at this Japanese-American vesper service.

Rev. Henry Frost, pastor of the Trinity church, introduced Dr. Frank Herron Smith, superintendent of the Pacific Coast Japanese Methodist Mission, who acted as the chairman of the evening.

The first speaker was Norman Kobayashi, a University of California student, who told of the difficulties confronted by students during his college life. Rev. C. Tagashira, pastor of the Berkeley Japanese M. E. church, spoke next on the contribution made by Japanese pioneers in this country and their struggles for spiritual life.

The next speaker was James Hirano, young business man of San Francisco, who spoke impressively upon "World Unity and Brotherhood." He was followed by Dr. Burns, the main speaker.

Besides the inspiring speeches, there were several beautiful musical renditions which helped to make the vesper service a memorable one. The Trinity church choir rendered a choral anthem, while the Oakland Japanese M. E. church quartet composed of Ben Furuta, James Hirano, and the Misses Yuki Furuta and Hisa Fujii sang a sacred selection "Just as I Am." Dr. Davidson sang "Beautiful Japan," and the Oakland Japanese choir rendered "In the Garden of Dream."

Tea and refreshments were served by the young people of the Trinity church. The young people's organizations which took active part in sponsoring this meeting include the Berkeley Fellowship, the Trinity Methodisht Epworth League, and the Japanese Epworth Leagues of Alameda, Oakland, Berkeley and San Francisco.

M.E. TO HOLD JAPAN NIGHT

Methodist Conference Sponsors Special Devotional

OAKLAND, September 10.—"Japan Night," with three able speakers delivering verbal pictures of the charm and beauty of Nippon, will be held this (Tuesday) evening at the local Japanese M. E. church as the climax event of the annual Japanese Methodist Conference of the Pacific Coast now is session in this city.

The speakers will be S. Kawashimo, who will dwell on the subject "Glympses of Kyushu," T. J. Machida on "Impressions of Chosen," and Y. Morisuye on "The Real Problem of the Japanese Methodist church," and Y. Sasaki on "Sendai and Tokyo." Y. Oshita will preside.

Twenty Japanese pastors and a score of lay delegates are assembled in this city for the conference with Bishop Charles W. Burns and Dr. Frank H. Smith as presiding officers.

Penance for Profits

VEDSAILLES, Sept. 11. —(UP)—Thieves who robbed the poor box of the Curch of Ville de'Avray, were conscience stricken and lighted a candle at the altar of the Virgin before leaving the church. ?

THE WEATHER

Official forecast:

Tuesday—fair and mild. Moderate westerly winds.

よい品質は無言のセールスマン

RB&Co ENSIGN BRAND

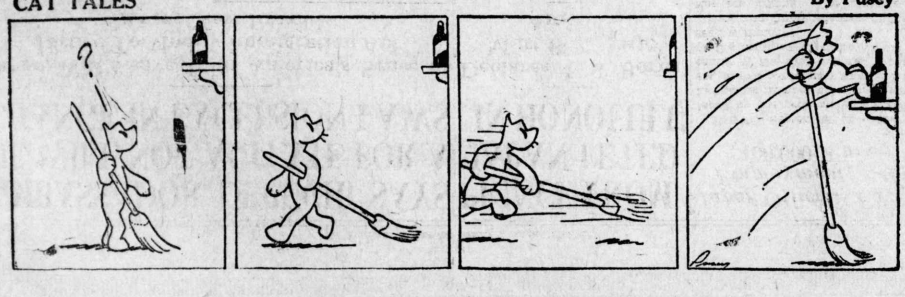
新米が出ました

桑港フロント街二一四

ローゼンバーグ兄弟商會
日本人部總代理店

野中商店

電話 (ダベンポート四七七六
(ダベンポート四七七七

CAT TALES

By Pusey